



市内11会場でふれあい市民懇話会が



次回の市議会議員一般選挙から3名減の24名に



メール配信サービスは、新着情報のほか、災害時などに緊急情報も配信！

- 6月、3か所めの地域子ども教室が狭山台地区2校でスタートしました
- 8月28日、「生涯学習都市さやま」の実現を目指して、さやま生涯学習をすすめる市民の会が設立しました



各幼稚園、小・中学校に刺股と携行型拘束網展開装置を配備

## 環境

- 3月、第一環境センター(奥富)に、粗大ごみ処理施設とリサイクルセンターを統合する「リサイクルプラザ」の建設がスタートしました。市民へのごみ減量とリサイクルへの意識啓発の発信の場となることを目指します
- 5月18日～8月17日、緑のトラスト保全第8号地の県民投票が行われ、「堀兼・上赤坂の森」は約4万5千票の支持を得ました



リサイクルプラザ建設のため解体される第一環境センターの焼却施設

## 健康・福祉

- 3月、狭山市次世代育成支援計画を、市民の代表などで組織する策定委員会で検討を進め策定しました



ともに支えあい、元気で安心して子育て・子育てができるまち・さやまを目指して

## 防災・防犯

### 防災協定調印式



三国コカ・コーラボトリング(株)と「災害時における応援協力に関する協定」を締結



武州ガス(株)、狭山警察署と「狭山市防犯のまちづくりに関する協定」を締結

- 3月に奥富地区、11月に狭山台地区に自主防犯組織(通称アポック)が設立されました
- 4月28日に武州ガス(株)、狭山警察署との間で、7月21日に三国コカ・コーラボトリング(株)との間で協定を締結しました
- 5月1日、救急支援活動を開始。救急隊員の資格を持った消防隊員が消防車で現場に出動し、応急処置を行います
- 8月、木造住宅の無料簡易耐震診断を開始しました

# 狭山市の一年を振り返って

平成17年も残すところ後わずか...今年も、東京狭山線の一部開通など、いろいろな出来事や計画作り、事務事業などがありました。今回は、狭山市の一年間を振り返り、主な出来事を紹介します。

## 都市整備



新たに建設された狭山市駅東口自転車駐車場



西武新宿線をくぐりぬける東京狭山線

- 3月13日、都市計画道路・東京狭山線の沢地区から奥富地区の間、約730mが開通。交通がさらに便利になりました
- 9月1日、狭山市駅東口に収容台数1,887台の有料の立体自転車駐車場がオープンしました



8月24日、都市対抗野球、ホンダ対ヤマハ戦。9対2でホンダが勝利

## その他

- 8月22日～9月1日、第76回都市対抗野球大会に2年連続で狭山ホンダが出場し、多くの市民が声援を送りました
- 9月3・4日、狭山稲荷山公園を舞台にハイドパーク・ミュージック・フェスティバル2005を開催。市民主体の実行委員会を組織し、市民とともに、北海道から沖縄までたくさんのファンが狭山のウッドストックの森を訪れました



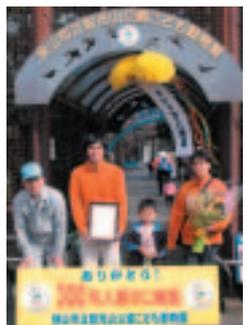
狭山の自然を守りたいという想いから始まったハイドパーク・ミュージック・フェスティバル2005

## 行革・振興計画

- 1月30日、「狭山市が入間市と合併することの是非について市民の意思を確認する住民投票」が行われ、反対票が賛成票を上回りました
- 3月23日、狭山市議会議員の定数27名を24名に削減する条例が可決しました
- 3月、狭山市公式モバイルサイトが市区町村で全国初となるすべての携帯電話会社の公式サイトに。また、メール配信サービスと蔵書検索・予約サービスが新たにスタートしました
- 9月、第3次狭山市総合振興計画の中期基本計画を策定するため、第1回めの中期基本計画策定市民会議を行いました（7月に市民意識調査を実施。7月26日～8月23日にはふれあい市民懇話会を開催）
- 行財政改革の各種施策を実施しました（4月、市職員の通勤車両の駐車場使用料を徴収を開始。12月指定管理者制度の導入、職員給与の見直し）
- 7月、戸籍情報を電子化し、コンピュータ処理することで、証明書が見やすく、戸籍事務がより効率的になりました

## 教育・文化

- 2月6日、こども動物園の入園者が300万人を超えました
- 4月7日～5月9日と10月3日～31日、市の職員が園児・児童の安全を守るため登下校の時間に学校周辺の防犯パトロールを行いました



300万人めの来場者に記念品などが贈られました